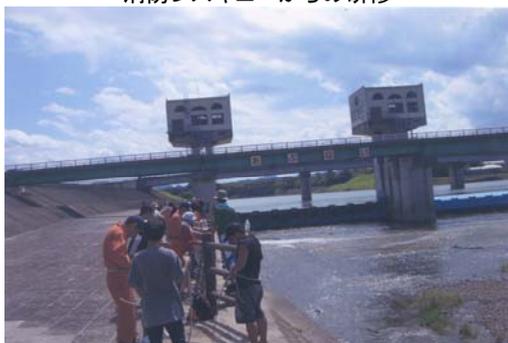


事業報告書 (No. 10)

1 支援団体名	NPO法人 豊前の国建設倶楽部
2 事業名称	山国川流域防災ボランティア育成研修会
3 実施日時	平成19年9月8日 平成19年11月21・22日
4 実施場所	山国川河川事務所周辺 豊前市立千束小学校・山田小学校
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>1) 川でのセーフティーネットワーク構築のための指導者研修会として山国川平成堰周辺で、消防レスキューからロープ結索や展張の仕方、ライフジャケットの効果的使用方法など、ボランティア・リーダーとなる人たちの研修を実施した。</p> <p>2) 県境の川であることから福岡県側の小中学校児童を対象に川の役割や関わり方、ボランティア活動の仕組み、活動実績に基づく提言をメンバーが講師となり実施した。</p> <p>特に、音楽を通じて世界各国でボランティア活動を実施している「ヤヒロトモヒロとウーゴ」(ウルグアイ在住ピアノ奏者)の世界の音楽や楽器を通じて交流体験から防災などの危機管理の必要性を学習した。</p>
	<p>(実施事業効果)</p> <p>防災研修と世界の音楽ライブ、実際の災害時でのボランティア活動の体験を中心に実施したことから小中学生の理解度や関わり方への反応がすごく良く、質問や意見交換の中にも防災ボランティア活動に理解と興味を示し今後、自分たちも機会があれば参加したいとの意見が多くあった。</p> <p>学校側の取り組みも素晴らしく、中学生全校生徒が徒歩で近くの小学校の会場まで集合する様子は、正に規律や統制力が求められる防災ボランティア活動の研修成果と思われた。</p>
6 参加内訳	総人数 370名
	(1)主催者参加 12名
	(2)日本人参加((1)を除く) 357名
	(3)外国人参加((1)を除く) 1名
7 今後の方針	九州地方整備局でも防災に対しての「自助・共助・互助」の役割がどうあるべきかに取り組んでいますし、当豊前の国建設倶楽部の代表も委員として参加していることもあり、今後更なる「防災ボランティア」活動のあり方について研修会などを続け山国川流域を防災ボランティアネットワークのモデル地域とするような活動につなげていく計画です。

消防レスキューからの研修



防災ボランティア活動の研修

